

行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、平成28年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億2,443万2千円の繰越しとなりました。

歳入は、明許繰越分を除いた予算に対して2,344万8千円の増で、町税が予算に対し1,959万7千円の増となり、歳出は、平成29年度への明許繰越分を除いた実質の不用額は、1億98万3千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、86万9千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、9,442万3千円の赤字となりました。平成28年度の赤字は、平成29年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、5月31日付けで平成29年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

介護保険特別会計は、2,541万2千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、平成29年度に精算されることから、精算額が確定次第、議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、472万5千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度と比較し微増の17万8千立方メートルとなり、ガス売上は369万9千円の増収となりました。

事業収支では、料金改定や経費の節減等により、178万7千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金3億9,567万4千円から当年度純利益を差し引きしますと、当年度未処理欠損金は3億9,388万7千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比1万8千立方メートル減の60万5千立方メートルとなり、給水収益は316万円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により941万円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金170万5千円を差し引きますと、当年度未処分利益剰余金は770万5千円となります。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は22%の増加となり、入院収益では1,903万1千円の増収となりました。

外来患者数は3%の減少となりましたが、外来収益では60万6千円の増収となっております。

事業収支では、一般会計から3億1,000万円の補助金を繰入れした結果、前年度に比べ約1,000万円の収支を改善したものの、期末決算では1,494万9千円の純損失となり、この純損失に前年度繰越欠損金3億4,043万6千円を加えますと、当年度未処理欠損金は3億5,538万5千円となります。

なお、各会計の詳細については決算上程の際に関係資料を提出いたします。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による「ふるさと納税」の平成28年度の寄付状況は、3,480件、4,035万2,323円となり、条例施行後の基金総額は10,820件、1億2,690万6,737円となりました。

また、平成28年度では、まちづくり基金を取り崩し、各目的別事業の財源として、合計1,751万7,219円を充当いたしました。

今後は、返礼品の登録品数を増やすとともに、特産品の全国PRを図りながら、さらなるふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

先月19日、東京理科大学特命教授で政治学者の姜尚中先生の特別講演会が、大学と本町の共催により開催されました。講演会は、藤嶋学長の御厚意により実現したもので、「悩む力～近代日本の大学・文学に学ぶ文化力としての教養～」と題して開催され、町内外から約250名の参加者がありました。

終了後は、理科大の御厚意により、大学関係者と議員各位をはじめ、町民との交流会も開催され、本町と理科大との交流もさせていただいたところでもあります。

今後も本町と理科大が、益々交流と絆を深めながら発展し、より良い未来へとつながっていくよう対応してまいります。

本町と大学との地方創生に係る包括的連携協定に基づく事業の一つとして展開している、再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトについては、昨年度に実地研究用ビニールハウスにより、レタスの栽培研究を開始いたしました。販売先確保に向け、既に利用開始している理科大神楽坂キャンパスの学生食堂をはじめ、町内外から協力店及び業者等の取引先の募集を開始しているところでもあります。

また、昨年度末に交付申請していた地方創生推進事業交付金が、4月下旬に事業の採択が公表され、本事業は、内閣府より地方創生の先駆的事业として採択が決定されたのに続き、5月末日に交付決定されたところでもあります。

今年度は、先進的農業生産システムの開発による本格的量産の開始及び町民が参画する地方創生会社の設立による運営の開始なども計画されており、本定例会に関連の補正予算を提案いたしております。

引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

今月7日、鉄道・運輸機構の出先機関である長万部鉄道建設所の開所式が執り行われました。

この建設所は、工事管理を行うための現地事務所として開設され、現時点では5名体制となっておりますが、明かり区間をはじめとする工事の本格化に伴い、20名程度まで増員される予定と伺っております。

また、立岩トンネルのルコツ工区につきましては、これまで、現地において工事を始めるための準備が進められておりましたが、この度準備が整ったことから、今月19日に安全祈願が執り行われる予定となっております。

町といたしましては、今後、益々本格化する新幹線工事が円滑に行われますよう、関係機関と密接に連携しながら取り組んでまいります。

長万部駅の高架化につきましては、町からの要望を受け、北海道から鉄道・運輸機構へ要望書が提出されました。

先月には、議長、副議長及び道の担当者とともに鉄道・運輸機構本社などを訪問し、高架化と併せ、まちづくりへの支援をお願いしたところであります。

今後とも、本年中の高架化への変更認可を見据えながら、アクションプランをはじめとするまちづくりを鋭意進めてまいります。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう、料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月11日から役場窓口で、また14日に国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。

5月末までの対象件数は812件で、交付件数は713件、約87.8%の交付率であります。

また、9月18日の敬老の日に合わせて、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月11日から13日までと15日から18日までの計7日間、老人福祉センターを昨年に引き続き無料開放する予定であります。

さらに、町内にある公衆浴場についても助成を行い無料開放を実施していただくよう準備を進めており、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、児童福祉関係について申し上げます。

4月1日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員60名に対し、59名の入所となっておりますが、4月途中に1名が入所しましたので60名となっております。

一時保育事業の4月の利用は、3歳未満児が3名で延べ28日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、1・2年生が6名で延べ51日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ57組、115人の親子の利用となっております。

また、放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学2年生1名、3年生3名、4年生2名、5年生1名の計7名の入所となっております。

次に、葬斎場改修関係について申し上げます。

本町の葬斎場は、耐震診断等で問題がなかったことから、既存施設を最大限利用して、施設の増改修工事を実施することといたしました。建物構造は、鉄筋コンクリート造で、建築面積は482.29平方メートル、うち増築部が191.25平方メートルとなります。

主な改修箇所は、控室・待合ホール・炉前ホールの拡充、施設内各所のバリアフリー化、男女トイレの洋式化と多目的トイレ増設、玄関ポーチ改良及び遠隔保全システムを備えた高性能火葬炉の導入であります。

改修工事については、来月から着工し、平成30年3月竣工の予定で、工事期間中は施設を閉鎖するため、火葬業務については近隣の八雲町と黒松内町の施設利用をお願いすることになります。

なお、この間の火葬場使用料については、本町の使用料との差額が発生いたしますので、本町に在住する対象者に対しての差額分を補助することとし、その費用については、本定例会に補正予算を提案いたしております。

町民のみなさんには、墓地の利用も含めまして、何かとご不便をおかけすることになりますが、よろしくお願い申し上げます。

次に、生活環境関係について申し上げます。

平成28年度の本町のゴミ収集総量は、約2,040トンで、前年度と比較して約49トンの減となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、約1,675トンで、前年度と比較し41トンほど減少いたしました。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等への巡回無料回収を実施しております。あわせて、今年度からは役場内担当窓口で、随時無料で衣類回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

次に、地球温暖化対策関係について申し上げます。

昨年、閣議決定された「地球温暖化対策計画」では、2030年度に2013年度比でCO₂の40%削減目標が掲げられました。本町におきましてもこの目標に少しでも近づけるため、早急に「長万部町地球温暖化対策計画」を改訂し、公共施設を対象に省エネ設備等を導入していくことが必要となっております。

つきましては、その第一段階としての計画策定と温室効果ガス排出量の調査及び施策検討事業を実施するため、平成29年度環境省所管の補助事業を活用することを条件に、現在準備手続きを進めております。

このソフト事業実施における委託事業者については、公募型プロポーザル方式により選定する予定であり、本事業に係る費用については、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の高温多照により生育は順調に経過しており、5月15日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレージ用とうもろこしは、播種作業が平年並に進んでいる状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、今年度も牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、町内酪農家の飼育牛は、4月28日に共立牧場へ224頭、5月8日に蕨岱牧場へ93頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、5月18日に77頭の入牧が終了し、合計394頭が入牧しております。

生乳生産量は、1月から4月まで3,319トン、乳代は2億9,946万円となり、前年に比較し66トンの減となり、乳代では505万円の減となっております。

黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は94頭、販売金額は7,192万円となり、前年に比較し、販売頭数で11頭の増となり、販売金額では1,133万円の増となっております。

次に、林業関係について申し上げます。

森林環境保全整備事業及び環境林整備事業の共立地区の地拵・植栽事業3ヘクタールは、4月17日に着工し、5月31日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木100本の寄贈があり、4月29日に同法人主催の「植樹祭」で、町民参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き鳥獣被害防止対策事業を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するための適切な処置を実施してまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業である平成28年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、成育不良や台風による養殖施設が被害を受けたことにより、10,607トンとなり、前年度に比較し6,561トンの減産で、生産額では42億5,080万円となり、前年度と比較し14億1,691万円の減収となっております。

また、EU向けホタテ貝出荷は減産により、平成28年度に限り、出荷を中止しております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年2月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約86%、変形及び欠殻貝が約13%、へい死等の死貝が約1%となっており、例年と比較し良好な成育状況になっておりますが、引き続き関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成28年度の漁獲量は約526トンで、前年度に比較し約79トン減少し、漁獲額は2億6,135万円となり、676万円の増収となっております。

長万部町水産廃棄物リサイクル施設については、長万部町内の水産加工処理により生ずるホタテウロを効率的、衛生的かつ安全に処理するため、管理及び運営を長万部漁業協同組合へ委託しておりますが、ホタテ貝の減産等に伴い、原料であるホタテウロの搬入量が減少しているため、製品の製造量も減少しておりますが、引き続き品質を向上させ、施設の運営を適切に行ってまいります。

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、緩やかに改善しているところではありますが、本年度も事業経営のさらなる安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の北渡島檜山4町地域による観光部門での広域連携事業に積極的に取り組み、北海道新幹線開業効果を当地域に波及させるべく事業を進めてまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、道内外での各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。さらに町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。今年度は特産品売り場の拡大も計画されており、観光客のみなさんの利便性の向上が図られるものと考えております。

本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、景気の緩やかな回復と人手不足などを受けた企業の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の3月卒業生の就職率は100%となっております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅はまなす第2団地非常灯バッテリー交換工事は7月21日までの工期で、現在、施工中であります。

また、延べ床面積1,000平方メートル以上の町営住宅6棟について、法定点検である特殊建築物定期調査を9月22日までの委託期間で実施中であります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する橋梁点検調査を12月22日までの委託期間で実施中であります。

また、町道富永幹線取付道路工事を9月22日までの工期で発注しております。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を11月17日までの工期で発注しております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園は4月14日に、長万部公園は4月21日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くの方に利用されております。

また、長万部公園ブランコ設置工事を、6月20日までの工期で、現在、施工中であります。

その他、公園管理用芝刈機を8月31日までの納期で、購入契約を締結しております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

汚水処理施設共同整備事業の基本設計・地質調査・地形測量・詳細設計委託業務については、平成30年3月30日までの委託期間で実施中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

3月末で熊谷前院長が退職され、4月より伊藤内科医長が新院長となりました。

新たな体制での病院運営となりますが、内科常勤医師が1名不在のため、嘱託医や出張医での診療となり、町民のみなさんにはご不便をおかけしております。

厳しい経営状態が続いておりますが、引き続き、医師確保に努めるとともに、今後も地域に根ざした信頼される町立病院を目指してまいります。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者16人から申請があり、80万9,524円を4月19日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。

長万部高等学校通学費補助は、国縫及び黒松内町等の通学者19人から申請があり、157万4,260円を支給決定しております。

また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生5名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し給付等の決定をしております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年5月末現在の火災件数は4件で、うち、建物火災が1件、車両火災が2件、野火が1件発生しております。

救急件数は130件、搬送人員は129人で、うち、急病が72件、交通事故が4件、一般負傷が14件、その他転院搬送などが38件で、ドクターヘリによる施設間搬送が2件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中に、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察、一般住宅における住宅用火災警報器の設置調査や作動確認を実施し、早めの更新を促しました。

また、今年度におきましても、子供から大人まで広く町民のみなさんに消防を身近に感じていただくため、「おしゃまんべ消防フェス」を開催するなど、火災予防の推進に取り組んでまいります。

消防団の状況については、6月1日現在の団員数は、基本団員が129名、うち、女性団員が18名で、機能別団員が21名となり、条例定数の150人にまで充足いたしました。

また、消防団の装備については、中ノ沢分団と双葉分団の消防車にAEDを搭載するなど、今後とも消防体制並びに消防装備の充実強化を図ってまいります。

なお、5月29日に大型水槽付消防車の購入に係る入札を行いましたので、地方自治法の規定に基づき、本定例会に財産の取得について提案いたしております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、専決処分の承認や財産の取得、一般会計及び公共下水道事業特別会計補正予算、長万部町農業委員会委員の任命など18件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。